



スクールライフ

令和7年3月5日
内灘中学校長 小村 隆典
生徒指導部



「言葉の力」

校長 小村 隆典

3月に入りました。保護者・地域の皆さまのご理解とご協力により、今年度も学校運営を行って参りました。残り1ヶ月も、今年度の仕上げをしっかりとできるよう、次年度の準備がしっかりとできるよう、生徒と教職員が力を合わせて頑張りたいと思っています。

3年生は公立高校学力検査を目前に控えています。思う存分に力を発揮することができるよう、体調に気を付けながら**最後まで努力を**してほしいと思います。1・2年生は進級を控えています。1年後または2年後の自分をイメージし、**中学校卒業後の進路に向けて動き出すこと、精神的に一段階、成長をすること**を意識してほしいと思います。



言葉を大切に



「結局のところ、我々には対人関係以外の問題はないように見える」

これは、オーストリアの精神科医で個人心理学の創始者、アルフレッド・アドラーの言葉だと言われています。私たち人間は人との関わりの中で生きており、人との関わりの中で喜びを得たり悩んだりすることも多くあります。本校の学校経営ビジョンは「**自他共栄～互いに高め合う学校づくり**」です。生徒には「**自他を大切に行動しよう。**」と伝えています。**互いに尊重し合うことでWin-Winの人間関係を目指すこと**。生徒にはこのような考え方とスキルを身につけてほしいと考えています。



アメリカ国立科学財団の研究によると、人は1日に「1. 2~6万回の考えごと」をするそうです。それらのほとんどは「言葉」を用いた思考だそうです。よって、「**どんな言葉を用いて考えるか**」は大きな問題です。「**でも…、どうせ…、だって…**」から始まるような「**できない理由を考える言葉**」ではなく、「**きっと(私はできる)**」のような、**肯定的・積極的な言葉を用いてほしい**と思います。

もちろん、他者に対しても「**否定的・攻撃的な言葉**」を用いてはいけません。「**言葉は刃物**」とも言われます。使い方によっては、相手を傷つけることはもちろん、自分自身の信用も、心も傷つけます。

『その一言』

その一言で、励まされ
その一言で、夢を持ち
その一言で、腹が立ち
その一言で、がっかりし
その一言で、泣かされる
ほんのわずかな一言が
不思議で大きな力持つ
ほんの一寸の一言で

高橋 系吾

高橋敬吾さん（道灌山学園創設者）の「その一言」という詩は、「言葉の力」を私たちに教えてくれます。一言の言葉が人を傷つけることもあれば、人に勇気を与え、ときに人生を前に進める大きな力になることもあるでしょう。人との関わりの中で生きる私たちは「言葉の力」を理解し、人に力を与え、人を幸せにする言葉を使いたいですね。



【第65回内灘中学校卒業証書授与式】



3月14日(金)午前9時より、本校体育館にて卒業証書授与式を挙行します。入学式の初々しい姿から3年が経ちました。中学校生活で多くの仲間ができ、多くの経験を積み、たくましく成長しました。卒業生の皆さんは、この先新しい人生を歩んでいきますが、まずは義務教育修了という大きな節目を迎えます。

【春休みの過ごし方について】

24日(月)の修了式をもって、令和6年度の1年間が終わります。4月からの新年度をしっかりと迎えるために、以下の点に気を付けてください。

1. 交通事故の防止

(1)公共交通機関の乗車マナー、自転車運転時の交通ルール等を守ること。

2. 非行等問題行動の防止

(1)いじめ、暴力、万引き、窃盗、飲酒、喫煙、深夜徘徊等の問題行動を起こさないこと。

(2)インターネットの利用にあたっては、マナーを守り、個人情報の取り扱いに注意するとともに、SNS等により他人を誹謗（ひぼう）・中傷することや、プライバシーの侵害を絶対にしないこと。昼夜逆転の生活を送らないこと。

(3)春休み中に、身なりを乱さないように心がけること。

(4)保護者を伴わず、生徒同士で旅行に行かないこと。

3. 部活動関係

(1)活動時間を守り、整理整頓を行うこと。

(2)部活動の際、スマホ等の不要物は持って来ないこと。

(3)服装は各部で決まったものを着用すること。

卒業生に関して

卒業式を終えると、一足早く春休みになります。決して羽目を外さず、生活リズムを崩さずに過ごしてください。進学を控えた大切な期間です。また、春休み中、各高校での仮入学に行く際は中学校の制服を着用するので、卒業式を終えてもボタン・ネクタイ・名札を友達や後輩等に渡さないようにしてください。